「鯉のぼり」の寄付について
～お願い～

毎年、4月上旬から坂田池に鯉のぼりを揚げています。皆さんのお宅で揚げることのなくなった「鯉のぼり」がありましたら、寄付をお願いします。楽しみにしている子どもたちのためによろしくお願いします。

※問い合わせ先　産業振興課　☎８２－８８２６

桜まつり開催

とき　４月８日㈯・９日㈰　午前10時～
ところ　ふれあい坂田池公園

当日は、各種イベントのほか商工会をはじめ農業関係者、清水の里、日曜マーケットによる青空市、フリーマーケットなど60のお店で賑わいます。
なお、雨天のときは中止となります。

●フリーマーケット出店者を３月24日㈮まで募集しています。

※問い合わせ先　産業振興課　☎８２－８８２６

文芸

俳句

横芝俳句栗江会

翔び立ちて一線にあり寒雀
嬉しさや指の一節日脚伸ぶ　村上　淳

下総と上総を繋ぐ川温む
やっとこさ狭庭に兆す春日和　今関満喜子

寒雀雪の上の南天ついばめり
バス降りる女の足元春めきて　長谷川正子

晴姿見入る母の背春来る
城山の春めく薫り梅報らせ　桑名　大行

環状線路肩の花や春めきぬ
朝日浴び庭に啄む寒雀　福田　幸子

総の野のゆるき起伏や春めきぬ
春の雪宙に舞いいて地に着かず　藤代　ゆう

南瓜種そろそろまいて見ようかな
婆の足外出をしぶる春の雪　若梅あやめ

坂田池浮寝水鳥春光す
紅の砂流れ春めく砂時計　講師選者　山口　一秋

ひこばえ俳句会（互選句）

雪被り絵図となりけり五葉松　浅野　茂子
山眠る上総杉山尖り立ち　池田　逸子
元冬の重さ映せし流れかな　伊藤　敬子
末黒野の匂ひ残りて暮るる空　川島　孝夫
オリオンの瞬く空を仰ぎけり　向後　寛
左義長の終いに肩の灰払ふ　佐瀬　輝夫
太陽へ放りだされし雪の山　宍倉　道子
その角を少し曲がれば春が待つ　早川　勇
飛ぶ鳥の光りとなれり深雪晴　布施　和代
初詣社の階を心地よく　若梅あやめ
下総の飯高檀林寒牡丹　渡部　和秋

道問へば教えてくれし学生が
「お気をつけて」と言葉もくれぬ　池田　春江
洗ひゆく菠薐草は忽ちに
根元の赤きをきはだたせ来ぬ　八角　三枝
九十九里の海辺近くに住む吾を
羨しと言ひぬ都会の友は　西山満里子
鉄板にお好み焼きの焼ける待つ
幼な二人は身動きもせず　押尾　輝子
八十路越ゆ叔父は畑より白菜を
持ちきてくれぬ霜の朝を　芹川　初子
ガサゴソとビニール袋の音続き
病院の朝はゆっくり始まる　長谷川　正子
流れゆく雲など見入るひとときを
生活のなかのゆとりと思ふ　佐瀬　初音
振袖のレンタル型録またも届く
成人式を迎ふる孫に　鈴木　やす
カーテンに面輪隠して幼きは
笑み崩れ言ふ（いない・いないば）　選者　斎藤つね子

短歌

雪深き湯西川温泉明け初めて
山の傾りを朝日は照らす　永藤　滋
挿し木して亡夫の育てし臘梅が
友の庭にも花咲かせおつ　吉岡　信子